

平成 27 年度 地域ケアプラザ事業報告書

1 施設名

横浜市浦舟地域ケアプラザ

2 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行なったのか、事業計画書を基に具体的に記載してください。

地域の現状と課題について

1 【ケアプラザの機能・役割の周知】

- (1) 町内会行事や地区社会福祉協議会事業などに積極的に参加し、機会を捉えてケアプラザの機能や役割を案内するとともに、地域の課題把握に努めました。
- (2) 地域の小学校において「認知症サポーター養成講座」「高齢者疑似体験」を開催し児童に対する福祉教育に協力しました。
27年度は、他のケアプラザとの共催により共進中学校の生徒向けの認知症サポーター養成講座を初めて開催しました。
小中学校の児童、生徒にケアプラザを知ってもらう機会となりました。
- (3) 地域向け広報紙「うらふね丸」の3か月に1回の発行、「ミニうらふね丸」の毎月発行、地区社会福祉協議会広報紙への寄稿や編集参加により、ケアプラザの広報に努めました。
- (4) 町内会館や高齢者住宅などの身近な場所で介護予防事業等を行い、ケアプラザの機能紹介を行いました。
- (5) よこはまウォーキングポイントリーダーの窓口への設置の認知度が上がり、多くの方にケアプラザを訪れていただきました。

2 【地域包括ケアシステムの構築】

地域ケア会議で「認知症」をテーマに検討を行い、地域課題を把握するとともに、地域の支援ネットワークづくりが進みました。
ケアマネジャー、サービス事業所、民生委員等を対象とした連絡会（勉強会）を開催し、お互いに顔の見える関係づくりを進めました。

3 【介護予防・健康づくりの推進】

- (1) 町内会館や高齢者住宅などの身近な場所で介護予防事業等を行いました。
- (2) ケアプラザ内に、「南区健康ウォーキングマップ」を掲示するとともに、持ち帰り用マップを配架しました。頻繁に補充する必要があり好評を得ています。

施設の適正な管理について

ア 施設の維持管理について

- 1 地域の方々が安心して安全に施設をご利用いただけるよう、建物管理委託業者と連携し定期点検や衛生管理を実施するなど適切な建物管理を行いました。
- 2 環境整備の専任職員を配置し清掃及び消毒等の衛生管理を徹底し、感染症の発生予防等に努めました。
- 3 建物および設備で修繕が必要な箇所は施設運営に支障が出ないように早急に対応しました。
平成 27 年度に実施した修繕は、「空調機」「誘導灯」「移動式粉末消火設備」「連結送水管」「ガス給湯器交換」「自動ドア」「地下駐車場ドバト対策」等です。

イ 効率的な運営への取組について

- 1 労務、経理等の事務処理を行う専任の事務職員を法人独自に配置して、業務の効率化を図りました。
- 2 総合相談件数等の管理や、介護保険請求、業務記録についての専用システムを活用し、業務の効率化を図りました。
- 3 法人内の地域ケアプラザ所長会や、各職種の担当者会議で効率的な運営に関する情報共有を行いました。
- 4 複合福祉施設内の管理委員会で担当を定め、全館の効率的な運営への取り組みを図りました。

ウ 苦情受付体制について

- 1 事業所で苦情受付担当者、苦情解決責任者を定め、法人の苦情解決規則に則り、お客様からのご意見、ご要望、苦情に対応しました。
- 2 毎月、法人内のケアプラザ所長会でサービス向上委員会分科会を開催し、苦情内容を分析しました。分析した結果を各ケアプラザにおいて、サービスの質的向上に反映しました。
- 3 法人では公正・中立の立場から、あっせん、調整を行う第三者委員制度を設けています。本年度は第三者委員制度に繋がる事例はありませんでした。
今後も適切な苦情解決に向けて継続して取り組みます。

エ 緊急時（防犯・防災・その他）の体制及び対応について

- 1 地震、火災等の災害時の備えとして、防災対応マニュアル、消防計画等を策定しており、定期的に自主防災訓練（年 2 回）を実施しました。
緊急時に職員がマニュアルに添った対応がとれるよう、今後も継続して訓練を実施します。
- 2 複合福祉施設全体で、合同の防災・防火訓練を年 1 回実施し、各施設協力して災害時の対応が出来るように体制を整えました。
- 3 特別避難場所としての機能を果たせるよう、応急備蓄品の管理、更新を行い、ポータブル発電機の動作点検を実施しました。
- 4 地域の一員として、お三の宮地区、寿東部地区の防災訓練に参加し、地域住民との連携強化に努めました。

オ 事故防止への取組について

- 1 事業開催時の参加者の心身状況について、サブコーディネーターを含む4職種（地域活動交流コーディネーター、保健師職、社会福祉士、主任ケアマネジャー）で情報を共有し事故防止に努めました。必要に応じて、その他の職員とも情報を共有しました。
- 2 介護サービス提供における毎朝の送り時に、当日ご利用いただくお客様の心身の状況について確認し、情報を共有するとともに注意を喚起しました。
- 3 ヒヤリハット報告書を積極的に作成し、事故防止に対する職員の意識を高めました。
- 4 事故発生時は、発生原因を精査した上で再発防止策を十分に検討し、朝礼や会議等を通じて職員に周知しました。
- 5 介護サービス事業部門においては、個々のお客様についてのカンファレンスを定期的に開催し、スタッフ間の情報共有と事故防止につながるサービス提供に努めました。
- 6 法人内の他事業所の事故事例を職員に周知し、事故発生予防に努めました。

カ 個人情報保護の体制及び取組について

- 1 個人情報保護の重要性をスタッフ全員が常に意識し、個人情報郵送時・FAX送信時のダブルチェックなどの基本ルールに沿って、業務にあたりました。
- 2 個人情報事故防止対策14カ条を所内に掲げ励行するとともに、個人情報保護の研修を定期的に行いました。
- 3 業務上やむを得ず個人情報を持ち出す際は、個人情報持出簿によりチェックを行い、盗難防止を目的とした肩掛けの専用持出カバンを使用しました。
- 4 業務用の携帯電話は事務室で一体的に管理し、持出返却簿において管理を徹底しました。

キ 情報公開への取組について

- 1 ホームページや広報紙を活用して各種事業に関する情報・第三者評価結果等を幅広く市民の方に公表しました。
- 2 ケアプラザにおいて情報開示の請求があった場合には、協会で定めた情報公開規程に則り、積極的に情報を公開することに努めました。
27年度は、情報開示請求はありませんでした。

ク 人権啓発への取組について

- 1 ケアプラザを利用いただく全てのお客様の人権を尊重して対応しました。
- 2 法人で主催する人権研修を職員が受講しました。未受講の職員に対しては、ケアプラザにて伝達研修を実施しました。

ケ 環境等への配慮及び取組について

- 1 1年を通して、不要な照明の消灯、空調の適温での運転などの節電に取り組みました。特に夏季には軽装での執務や緑のカーテンを作成するなど、より一層の節電を心がけました。
- 2 ごみの分別を徹底し、減量化を図りました。

介護保険事業

介護予防支援事業

《職員体制》

管理者：1名（兼務） 保健師：1名（兼務） 社会福祉士：1名
介護予防プランナー：4名

《目標》

- 1 お客様が住み慣れた地域で自立した日常生活を続けることができるように、お客様の意思及び人格を尊重し介護予防プランを作成し、設定された目標が達成できるように支援します。
- 2 お客様やご家族の主体的な参加を促すとともに適切な保健、医療、介護サービスが提供されるよう、マネジメントします。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 1 地域包括支援センターから居宅介護支援事業所に委託する介護予防支援業務については、お客様に対して十分に説明し、お客様の選択を尊重した上で、都道府県の指定を受けた居宅介護支援事業所に依頼しました。
- 2 地域ニーズに適合した人員を確保し、介護予防ケアプラン作成者の専門性を高め、質の向上を図るために、定期的な研修を実施しました。
- 3 関係法令を遵守し、区役所や地域の保健・医療・介護サービス事業者・ボランティア団体等から総合的かつ効率的にサービス提供されるよう、公正中立な立場に立ちケアプランを作成しました。
- 4 医療機関が多い地域であるため、入院加療を終えたお客様の退院後の在宅生活支援を行う際には、医療従事者と密接な連携を行い、在宅生活を継続していけるように早い段階から支援しました。

《お客様実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
111	188	191	194	185	191
10月	11月	12月	1月	2月	3月
200	197	201	198	204	210

居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者：1名（兼務） 介護支援専門員：4名（うち1名管理者兼務）

《目標》

- 1 要介護状態になった方が住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう、一人ひとりの能力や状態、解決すべき課題（ニーズ）を的確に把握し、心身の状況や環境等に応じた適切なサービス提供に努めます。
 - （1）自立支援（身体的自立・精神的自立）
 - （2）認知症支援
 - （3）医療連携
 - （4）自己実現（QOLの向上）
 - （5）家族支援（レスパイトケア）
- 2 関係法令の遵守を基本とし、区役所や地域の保健・医療・介護サービス事業者、ボランティア団体等から総合的かつ効率的にサービス提供されるよう、公正中立な立場に立ちケアプランを作成します。
- 3 要介護者へ質の高いケアマネジメントを実施するために、地域のさまざまな関係機関とネットワークを構築し、地域に根ざした信頼される事業所となるよう努めます。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- 1 地域ケアプラザ内の事業所という特色を生かし、福祉総合相談窓口（地域包括支援センター）との連携も密にしながら、きめ細やかな対応をしました。
- 2 定期的に、法人本部にてケアマネジャー担当者会議を開催し、情報交換や制度理解、ケアプラン作成研修、業務改善等に取り組みました。
- 3 「自立支援」「認知症支援」「医療連携」に強いケアマネジャーを育成するために、テーマ別の勉強会を行いました。
- 4 居宅介護支援事業という名称から、業務内容がイメージしにくいため、「ケアマネステーション浦舟」という呼称とし、分かりやすく広報をしました。

《お客様実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
57	56	52	51	51	52
10月	11月	12月	1月	2月	3月
52	51	51	52	53	53

通所介護事業

《提供するサービス内容》

お客様お一人おひとりの通所介護計画書を作成し、目標達成に向けて適切なサービスを提供します。

- ①送迎サービス ②健康チェック ③入浴サービス ④食事サービス ⑤個別機能訓練 ⑥口腔機能向上訓練 ⑦レクリエーション

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

1 1割負担分

(要介護1)	692円	(2割負担の場合)	1383円)
(要介護2)	817円	(2割負担の場合)	1634円)
(要介護3)	947円	(2割負担の場合)	1893円)
(要介護4)	1077円	(2割負担の場合)	2153円)
(要介護5)	1206円	(2割負担の場合)	2412円)

2 個別機能訓練加算 60円 (2割負担の場合 120円)

3 入浴加算 54円 (2割負担の場合 108円)

4 口腔機能向上加算 161円 (2割負担の場合 322円)

5 サービス提供体制加算Ⅱ 13円 (2割負担の場合 26円)

6 食費負担 650円

7 介護職員処遇改善加算 ご利用総単位数の40/1000に相当する単位数の料金

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9:30~17:00

《職員体制》

生活相談員3名 介護職員22名 看護職員4名 運転手5名

《目標》

「住み慣れた地域での在宅生活を長く継続できること」を目標に自立に向けた支援を行います。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ご希望される全員のお客様に対し、標準的な体力測定プログラムを用意しています。（歩数計の活用、お客様ご自身によるご利用時の記録等）
- iPadや通信カラオケの導入により、お客様自身がタッチパネルでアプリを操作しての脳トレや、カラオケの選曲、写真撮影など、自然な形でのIT機器の活用が進んでいます。
- 地域にある保育園の園児の訪問や、小学校、中学校、高校生の訪問、特別支援学校生徒によるボランティア活動やインターンシップの受入れもあり異世代交流を楽しむ機会となっています。また、地域のボランティア活動も多くあり、人と人とのふれあいの場としての交流も楽しんで頂いています。
- 少人数単位での戸外機能訓練を実施しています。日頃外出する機会の少ないお客様からは、次回の戸外機能訓練に向けての訓練意欲が高まるなど、大変好評を得ています。

《お客様実績（延べ人数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
710	703	762	780	763	776
10月	11月	12月	1月	2月	3月
808	748	722	667	740	813

介護予防通所介護事業

《提供するサービス内容》

お客様お一人おひとりの介護予防通所介護計画書を作成し、目標達成に向けて適切なサービスを提供します。

①送迎サービス ②健康チェック ③入浴サービス ④食事サービス ⑤運動機能向上訓練 ⑥口腔機能向上訓練 ⑦レクリエーション

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

1 1割負担分

（要支援1）	1766円	（2割負担の場合	3531円）
サービス提供体制加算	52円	（2割負担の場合	103円）
（要支援2）	3621円	（2割負担の場合	7241円）
サービス提供体制加算	103円	（2割負担の場合	206円）

2 食費負担

650円

3 生活機能向上加算

108円

（2割負担の場合 215円）

4 運動器機能向上加算

242円

（2割負担の場合 483円）

5 口腔機能向上加算

161円

（2割負担の場合 322円）

6 介護職員処遇改善加算

ご利用総単位数の40/1000に相当する単位数の料金

《事業実施日数》 週 6日

《提供時間》 9:30~17:00

《職員体制》

生活相談員3名 介護職員22名 看護職員4名 運転手4名

《目標》

「住み慣れた地域での在宅生活を長く継続できること」を目標に自立に向けた支援を行います。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ご希望される全員のお客様に対し、標準的な体力測定プログラムを用意しています。（歩数計の活用、お客様ご自身によるご利用時の記録等）
- iPadや通信カラオケの導入により、お客様自身がタッチパネルでアプリを操作しての脳トレや、カラオケの選曲、写真撮影など、自然な形でのIT機器の活用が進んでいます。
- 地域にある保育園の園児の訪問や、小学校、中学校、高校生の訪問、特別支援学校生徒によるボランティア活動やインターンシップの受入れもあり異世代交流を楽しむ機会となっています。また、地域のボランティアさんの訪問も多く、人と人とのふれあいの場としての交流も楽しんで頂いています。
- 少人数単位での戸外機能訓練を実施しています。日頃外出する機会の少ないお客様からは、次回の戸外機能訓練に向けての訓練意欲が高まるなど、大変好評を得ています。

《お客様実績（契約者数）》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
18	16	15	15	15	15
10月	11月	12月	1月	2月	3月
14	13	13	12	13	12

以下、地域ケアプラザ事業実績評価との共通部分

地域ケアプラザ

1 総合相談（高齢者・こども・障害分野への対応）

総合相談においては地域包括支援センター職員が不在の場合は、在席している職員が相談を受け付け、地域包括支援センター職員につなぐなど職員全体で対応をしています。

地域の状況や課題を把握するために地区社会福祉協議会、連合町内会、各町内会の事業や行事に職員が分担し積極的に参加しました。参加回数は96回でした。

事業や行事に参加した際に、機会を捉えケアプラザの機能や事業の紹介を行いました。

各担当者が事業等に参加し把握した情報は、所内で伝達し、情報共有を図り、支援を必要とする方や関係機関等への情報提供に生かしました。

早急な在宅環境整備が必要な方が多く、地域包括支援センター、地域活動交流以外の職員も協力し迅速な支援を行いました。

2 地域活動交流部門・地域包括支援センターの連携

地域活動交流と地域包括支援センター職員間で定期的に連携会議を行い、情報共有及び連携強化を図りました。

南区事業としてスタートした「脳トレウォーキング」は、地域活動交流、地域包括支援センター職員が積極的に事業運営にかかわり、自主事業化の支援を行った結果、円滑に自主運営化（ハッピー脳トレウォーキング）できました。

地域活動交流と地域包括支援センターの共催事業を積極的に実施しました。
年度内の共催事業72回、延べ1899名。

各職員が参加した地域の事業や行事の参加記録を整備しました。

総合相談の中で、地区社会福祉協議会事業等のインフォーマルサービスの対象となる方に対して、必要な情報提供や連絡調整を行いました。

ケアプラザで行っている事業の参加者の状態確認や状態把握には、サブコーディネーターも意識して積極的に係り、支援が必要な方は地域包括支援センター職員につなげるなど、所内連携を図りました。

3 職員体制・育成

事業ごとに必要な資格要件を満たした職員を、人員配置基準に従って適正に配置しました。

通所介護事業においては正規介護職員を2名配置し、サービスの質的向上に努めました。特に個別機能訓練については、横浜市リハビリテーションセンターの理学療法士による定期的な指導を受け、アセスメントから訓練メニューの作成、評価に至る流れを確立するとともに、より個別性の高い機能訓練を実施しました。

新採用職員や新配属職員に対してOJTを充実させ、職員育成を図りました。

通所介護、小規模多機能型居宅介護事業においては課題解決やサービス質的向上のために、ケースカンファレンスを実施しました。

法人内研修のみではなく、職種ごと、階層ごとの外部研修にも積極的に参加しました。

4 地域福祉のネットワーク構築

所長、地域活動交流コーディネーター、地域包括支援センター3職種（保健師職、社会福祉士、主任ケアマネジャー）で分担し、地域の活動団体が行う事業、行事に積極的に参加しネットワーク構築、強化に努めました。

お三の宮・寿東部両地区の福祉保健計画においては、第2期計画の中間期振り返り会議への出席、第3期計画策定に向けたプロジェクト等で地域課題の解決に向けたケアプラザの役割を説明し、計画立案に取り組みました。

お三の宮地区にリニューアルオープンする、「コミュニティサロンおさん」の運営については、懇談会開催前から横浜市の担当者と情報交換等を行いました。開所に向けた懇談会ではケアプラザの協力体制を地域の方々に説明しました。また、「おさん」において今後の運営協力について打合せを行いました。

次年度は介護予防活動等における、地域の拠点のひとつとしての活用と協働を進めていきます。

地域の子育てネットワークづくりとして、地区版子育てもっとネット会議、南区版子育てもっとネット会議を開催し、地域の子育て支援マップ作成などを行い、地域の子育て支援団体同士の連携強化を図りました。

介護予防を兼ねた出張相談の場で、救急医療情報キットの活用方法を周知しました。

エリア内のケアマネジャーやサービス事業所の連絡会を兼ねた研修会を開催し、事業者同士の連携強化を図りました。また民生委員への参加を呼びかけ、互いに顔の見える関係作りを行い事業者と地域の関係団体の関係強化を図りました。

[研修テーマ]

呼吸リハビリについて（30名）

心臓リハビリについて（22名）

8月に「うらふね納涼祭」を開催し、浦舟複合福祉施設のPR、機能紹介に努めました。多くのボランティアや地域住民の協力を得て、盛況でした。

5 区行政との協働

南区の区政運営方針「区民の皆さまとの協働で「あったかい」南区をつくります」の実現に向けて、町内会役員や地域住民、民生委員等、地域活動グループと連携を図り行動しました。

第2期南区地域福祉保健計画の最終年度として、地域の課題の解決や目標の達成に向けて、次のとおり取り組みました。

[お三宮地区]

- 各世代が活動できる地域のために
 - ・ふれあい食事会に参加し、介護予防体操等を行いました。
 - ・防災訓練に参加し、地域住民と同じ目線で、お三の宮地区の防災対策推進に取り組みました。
 - ・異世代交流活動である「ふれあいオセロ大会」や「グランドゴルフ大会」に参加し、地域全体で異世代交流が進んでいることを実感しました。
- 集える機会づくりを通じて地域間の交流・連携を図るために
 - ・子育てサロン「ほっと mom」の運営支援を行いました。一時期は担い手の減少が進んでいましたが、現在は卒業生の母親が担い手になるなど良い循環が生まれ、担い手も安定して確保できています。
 - ・高齢者サロン「ひだまり」に参加し、介護予防につながる活動を行いました。
- 地区社会福祉協議会を地域に知ってもらい、必要な情報が行き渡るために
 - ・「お三の宮地区社会福祉協議会だより」に「南区徘徊認知症高齢者あんしんネットワーク」の紹介記事を寄稿するなどし、紙面づくりに協力しました。
- 災害時にお互いに支えあえる地域のために
 - ・認知症サポーター養成講座を開催するなどし、日常的な地域での見守り活動を推進しました。

[寿東部地区]

- 子どもから高齢者まで、各々の活動をつなげることで交流が生まれるために
 - ・子育てサロン「サン・サンデー」は27年度から開催場所を当ケアプラザに移しての開催となり、積極的に運営支援を行いました。
- 地区別計画についてもっと住民に知ってもらうために
 - ・27年度は広報紙「えん」への寄稿はありませんでしたが、次年度はケアプラザ広報紙に地区社会福祉協議会活動の掲載を検討するなど、広報活動に寄与したいと思えます。
- 災害時や困った時に支えあうことができるために
 - ・南吉田小学校で行われた学校防災総合訓練に、区社会福祉協議会とともにブースを出し、地域における防災活動の推進に協力しました。

第3期南区地域福祉保健計画の各地区別計画策定に向けたプロジェクト会議に参加し、ケアプラザとしての役割や協働姿勢を地域の関係者に伝えました。

南区福祉保健センターとは日頃の連携のほか、月1回の地域包括支援センターカンファレンス、地域包括支援センター連絡会、地域ケア会議の開催を通じて個別ケースの情報を共有するとともに、支援方法の検討を行いました。

南区社会福祉協議会とは、地域ケア施設連絡会や事業共催、地域ケア会議、ボランティア情報の共有などにより、連携を強化しました。

地域活動交流部門

1 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

1. 情報収集

法人で作成した地域アセスメントシートを用い、4職種（地域活動交流コーディネーター、保健師職、社会福祉士、主任ケアマネジャー）や南区役所、南区社会福祉協議会の担当者とも協働しながら、地域情報を共有しました。必要に応じて、地域福祉保健計画等でも情報を共有しながら、地域支援への視点やそれぞれの役割等についても確認し、共通認識を持てるようにしました。

地域における各関係機関の会合や各団体の催しに積極的に参加しました。サロンに参加するなど地域の方の声を積極的に聞き、情報収集に努めました。

両地区の民生委員児童委員協議会には、4職種で担当し毎月出席し、活動の進捗や地域の状況について、最新の情報を収集しました。

2. 情報提供

地域ケアプラザを利用されている貸館利用登録団体の活動状況や福祉保健における、さまざまな事業に関する情報を積極的に提供しました。

活動状況が来館者に一目でわかるように、ケアプラザ内の壁面に、団体の活動内容と写真を入れたパネルによる展示を行いました。

また、通年の事業や特別プログラムは、その都度ポスターやチラシを作り、館内の見やすい場所に掲示しました。各町内会へも、町内へ回覧をしていただきました。

ホームページを随時更新し、若い世代の方や、多忙な方などにも活用していただけるよう工夫し、多くの方に情報を提供しました。

地域の方に向けた広報紙「うらふね丸」を3か月に1回、ミニ広報紙「ミニうらふね丸」を毎月発行し、地域住民や各関係機関に対して、情報提供を行いました。

お三の宮・寿東部両地区の社会福祉協議会が年2回発行する広報誌への投稿や編集会議に参加し、地域住民へ広く地域福祉保健活動や地域ケアプラザの機能や役割を伝える機会を作りました。

また、事業開催の案内も随時行い、情報提供に努めました。

2 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

1. 施設の積極的紹介

各連合町内会の総合防災訓練等、地域の行事に積極的に参加しました。これまで地域ケアプラザをご利用されていない、町内の若い世代との交流の機会を作りました。

また、地域の多様化に即し、様々な事業に取り組むスポーツ推進員や青少年等の地域活動者との関係作りに努めていきました。

土曜・日曜の事業は、通年で実施している「えんがわ倶楽部」や障がい児余暇支援事業「Ciao!」を開催しました。

平成28年1月からは、夜間帯の事業として、「初めての健康麻雀教室」を開催しています。脳トレとして、また、介護予防にも効果があると脚光をあびていることもあり、20名の参加者が熱心に学んでいます。

2. イベント開催

浦舟複合施設全体のまつり（うらふね納涼祭：8月開催）等、どなたでも気軽に参加できるイベントを積極的に行い、施設間連携の強化と地域への事業周知に努めました。

地域の方々が幅広くふれあい、ボランティア活動を知る機会として、2月21日（日）に「南区ボランティアフェスタ」を南区ボランティア連絡会、南区社会福祉協議会との共催で実施しました。

3. 効率的な施設貸出の方法

当地域ケアプラザを拠点に活動するサークルやボランティア等のグループを育成・支援し、グループの自主活動に向け、施設を貸し出します。ケアプラザ自主事

業の参加者から自立した活動への支援を行い、登録団体を増やし、利用の促進を促しました。

施設の空き情報を館内の見やすい場所に掲示し、最新の情報を提供し、貸館の予約の効率化に努めました。

「ボランティアルーム」や「地域ケアルーム」など、小規模な部屋を利用した事業を開催し、利用率の向上を図りました。少人数の参加者で開催した「大人の趣味講座」は、手芸を中心とした講座で、男性の参加者もあり大変好評でした。

地域の町内会、民生委員、婦人会、老人会などに対して、定例会等の場として、定期的に利用していただきました。

3 自主企画事業

高齢者、障がい児・者、子育て支援など、それぞれの地域ニーズや特性に応じた企画を行い、幅広い階層の参加が得られるような自主事業を展開しました。

通年開催の事業以外に、1日のみの開催や、短期間の期間を定めて、各事業（「大人の趣味講座」や「初めてのスマホ講座」、「テーブルで抹茶と和菓子を愉しむ」、「ハマの歴史塾」）を開催しました。

参加者の方々に、それぞれの事業の目的や地域ケアプラザの役割等を明示、周知して、福祉保健の推進につながる事業を展開していきました。

「うらふね脳の健康教室」は、運営を一緒に担う教室サポーターの支援の元、16期（8年）続く事業であり、脳トレの実践の機会として、その重要性の共通認識を持ち、事業展開をしています。卒業生がOB会として活動を継続しており、現在、自主的なグループが4つ活動しています。

自主企画事業の「ハマの歴史塾」は、講師をボランティアが担い、企画・運営にも協力していただき、事業をすすめました。次年度より自主活動団体として登録となり、活動が軌道に乗るように支援していきます。

4 ボランティアの育成及びコーディネート

1. ボランティア育成についての考え方

(1) 育成体制

ボランティア団体の協働やネットワーク化による活動内容の充実や活動しやすい環境を整備するなど、今後増加が見込まれる団塊世代の方々が活動しやすいような取組を行いました。

ボランティアのネットワーク形成、交流機会の場として、年末にボランティア交流を目的とした貸室大掃除大会を開きました。参加者同士が触れ合い、他の団体の活動内容を知る良い機会となりました。

年度末には、ボランティア感謝会を開催しました。

個人のボランティアも含め、多くの参加者があり他団体との交流、ボランティア相互のつながり、また活動意欲の向上につながる機会となりました。

高齢者の食事会、交流の場として、ケアプラザの自主活動団体として登録し、活動している「男のまな板クラブ」による「男のカレーランチ」の開催につなげていきました。

現在、3ヶ月に1回継続的に開催し、約40名の地域住民の方々が参加しています。

(2) 活動環境整備

貸室利用団体のボランティア活動支援としてデイサービス納涼祭の手伝いやうらふね納涼祭における出店、デイサービスへの訪問等の機会を作りました。

また、2月に開催された「南区ボランティアフェスタ」では、日頃の活動の成果を発表する場において、数団体が出演しました。

(3) 広報活動

浦舟特別支援学校のボランティア活動の支援を始め、近隣中学校、高等学校（共進中、仲尾台中、老松中、横浜青陵総合高校）の職業体験を積極的に受け入れました。

また、日枝小学校、南吉田小学校の生徒とも、認知症サポーター養成講座開催後に、デイサービスお客様との交流の機会も作りました。

自主企画事業の「ハマの歴史塾」は、1年半の開催を持って終了とし、自主活動団体として28年4月から活動開始となります。活動が軌道に乗れるよう、後方的に支援をしていきます。

(4) 研修等の実施

ボランティア活動がより充実し、意欲の向上につながる内容の講座として、「ボランティアスキルアップ講座」を開催しました。

介護予防の要素を取り入れることを目的に、地域住民が指導者となり体操を実施している自主企画事業も増えており、地域の担い手として活躍する場が広がっています。

地域包括支援センター

1 総合相談・支援

総合相談

地域包括支援センターの機能についてイメージしやすいように、「福祉総合相談窓口うらふね」という呼称とし、各種広報紙や案内チラシ等を用い、周知に努めました。

総合相談を受付けたケースで訪問が必要なケースは各職種で連携し、早急に訪問支援を行いました。

当事業所が担当する地域は、身寄りのない独居高齢者や高齢者のみ世帯が多く、困難ケースや支援に多くの時間を要するケースが多いのが特徴です。

相談件数 1204 件、訪問件数 424 件、合計件数は 1628 件でした。

相談内容内訳は、「介護保険」「日常生活課題」「その他」「医療」と続いています。

総合相談においては地域包括支援センター職員が不在の場合は、在席している職員が相談を受け付け、地域包括支援センター職員につなぐなどの対応をしています。

高齢者住宅や町内会館での出張型の介護予防教室を 8 回開催しました。

病院からの退院等に合わせた緊急的に環境整備が必要なケースが多く、地域包括支援センター以外の職員も協力し迅速な対応を行っています。

地域包括支援ネットワークの構築

地区社会福祉協議会、連合町内会、各町内会の事業や行事に職員が分担し積極的に参加しました。地域活動の担い手や民生委員との連携強化が図れてきており、特に民生委員からは、早い段階での相談が増えてきています。

ケアマネジャー、サービス事業所、民生委員等を対象とした連絡会（研修会）を開催し、お互いに顔の見える関係づくりを進めました。

7月15日「呼吸リハビリについて」 計 30 名

参加者 ケアマネジャー10名、サービス事業所4名、地域包括支援センター主任ケアマネジャー1名、民生委員14名、作業療法士1名

10月21日「心臓リハビリについて」 計 25 名

参加者 ケアマネジャー10名、民生委員14名、理学療法士1名

地域ケア会議の開催により関係者、関係団体・機関等と地域課題の把握、解決に向けて検討を行いネットワークの強化を進めました。

27年度は「認知症の方を地域で支える」ことをテーマに地域ケア会議を開催し地域課題の把握や情報共有等を行う中で、ネットワーク強化を図りました。

南区在宅医療連携拠点とは、まだ具体的な連携強化が図れていませんが、次年度は地域の医療と介護の連携強化のために積極的に働きかけていきたいと考えます。

担当地域内の小規模多機能型居宅介護事業所やグループホーム等の運営に関する会議への出席し、意見交換を行うなどし、地域の社会資源との連携強化を図ってきました。

実態把握

地区社会福祉協議会や町内会が行う食事会や高齢者サロン等に参加し、介護予防事業等を行う中で地域の実態把握に努めました。

法人で作成した地域アセスメントシートを使用し、地域の情報分析を行いました。総合相談等の分析から、単純に統計的な数字では表れない、「身寄りがない」「身内の援助を受けられない独居高齢者や高齢者世帯」が多いことを感じました。

実態把握のために職員が分担して、地区社会福祉協議会、連合町内会、各町内会の事業や行事に積極的に参加しました。参加回数は96回となりました。

これまで関係の希薄であった老人会等の地域活動との関係強化を意識して取り組みました。老人会の集まりに積極的に参加し、ケアプラザ事業の紹介、介護予防事業の紹介、脳トレなどを行い、好評を得ています。

2 権利擁護

権利擁護

成年後見制度利用に向けての支援の必要な方に対しては、関係機関と連携をとりながら、制度について説明し必要に応じて申し立ての支援をしました。

ケアマネジャーからの相談に対しても分かりやすく制度を説明するなどし、円滑に成年後見の制度利用ができるように支援しました。

成年後見制度と消費者被害防止を組み合わせた講座を区社会福祉協議会、地域活動交流との共催で開催しました。講座では、寸劇を用いるなど分かりやすく説明し、参加者の制度理解が進みました。

消費者被害については、ケアプラザで行っているお茶会、ゴールデン手と手の中でも講座を開催するなど、啓発の機会を増やしました。

医療機関との連携により、入院中の方の在宅復帰に向けた成年後見制度利用等の調整を早い段階から行いました。後見人が就いた後も専門職間で連携し、支援を継続しています。

高齢者虐待

介護者支援事業としての介護者の集い「うらふね介護者くらぶ」は、昨年度まで2か月に1回の開催でしたが、27年度は毎月開催としました。

隔月で、ミニ講座（施設見学・福祉用具説明・栄養講座）などを開催し、介護者の精神的サポートを行い、虐待防止に努めました。

毎月開催としたことで、在宅介護を継続するうえでの悩みを相談できる機会が増えました。また、介護者自身の介護予防につながる体操や栄養の講座も開催し参加者から好評を得ました。

総合相談の中で高齢者虐待が疑われる場合は、早期に区役所・関係機関と連携し事実確認に努め、チームでの支援体制を構築し対応しました。

認知症サポーター養成講座等で、虐待防止の啓発や介護者クラブの紹介などを行いました。

認知症

地域の認知症キャラバンメイトと協力し、地域住民、民生委員、小・中学生等を対象に認知症サポーター養成講座を開催し、認知症の理解と地域で支える環境づくりを進めました。

〔講座等開催内容〕

お三の宮地区認知症サポーター養成講座
南区社会福祉協議会施設分科会（南区との共催）
日枝小学校高齢者疑似体験講座
南吉田小学校認知症サポーター養成講座
日枝小学校認知症サポーター養成講座
お三の宮地区婦人部認知症サポーター養成講座
共進中学校認知症サポーター養成講座（3プラザ共催）

中村、睦ケアプラザと共催で、レインボーフェスタにおいて認知症啓発活動を行いました。

認知症サポーター養成講座や総合相談等の中で「南区徘徊認知症高齢者あんしんネットワーク」や「介護者の集い」等の情報提供を行いました。

平成27年度の認知症啓発活動のまとめとして、地域ケア会議から開催に繋がった、認知症サポーター養成講座の事例を発表しました。

3 介護予防マネジメント

二次予防対象者把握

地域の食事会や交流会、地域ケアプラザの自主事業等の機会に二次予防事業対象者の把握に努めました。

南区役所との協働で「お元気で21健診」を実施し、介護予防普及啓発と二次予防事業対象者把握に努めました。

9月までに実施した出張相談会で、チェックリストを活用しました。

注意事項のある方に対しては、各種事業の紹介や個別訪問による指導や支援を行いました。

介護予防ケアマネジメント力

日常生活支援総合事業を意識し、プランにインフォーマルサービスを組み込むなど、自立支援の観点からケアマネジメントを行いました。

介護予防支援業務を委託する場合は、担当ケアマネジャーと連携し、適切なケアマネジメントが行えるよう、支援しました。

適宜、ケアプラザで把握している地域のインフォーマルサービスの情報を提供しました。

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援

地域住民、関係機関等との連携推進支援

地域住民、関係機関との連携強化のため、民生委員の定例会や地区社会福祉協議会の振り返り会議、地域の行事等に積極的に参加し、互いに顔の見える関係作りと、いつでも相談を受けられる体制づくりをすすめました。

これまで関係の希薄であった老人会との関係強化を意識して取り組みました。

ケアマネジャー、サービス事業所、民生委員等を対象とした連絡会（勉強会）を開催し、お互いに顔の見える関係づくりを進めました。（2回開催）

7月15日「呼吸リハビリについて」 計30名

参加者 ケアマネ 10名、サービス事業所4名、包括主マネ1名、民生委員14名、OT1名

10月21日「心臓リハビリについて」 計25名

参加者 ケアマネ 10名、民生委員14名、PT1名

地域ケア会議の開催により関係者、関係団体・機関等と地域課題の把握、解決に向けての検討を行いネットワークの強化を進めました。

27年度は「認知症の方を地域で支える」ことをテーマに地域ケア会議を開催し、地域課題の把握や情報共有等を行う中で、ネットワーク強化を図りました。

医療・介護の連携推進支援

区内の医療・介護関係者がかかわる会議、研修に出席し、積極的に医療従事者とのかかわりを持ち、顔の見える関係作りに努めました。

南区在宅療養支援ネットワーク会に出席し、事例検討会等を通じ、地域の医療職、福祉職との連携強化に努めました。

南区歯科医師会との連携強化が進んでおり、通所介護での相談会や勉強会の実施、各事業での講演の実施など行いました。引き続き、地域の事業所と南区歯科医師会の協力関係強化のための橋渡しを行っていきたいと考えます。

ケアマネジャー支援

ケアマネジャー等からの相談を随時受けると共に、適宜同行訪問を行うなどの支援をしました。

困難事例については南区役所担当者との定例カンファレンス等で支援方法を検討するなどの連携を図りました。

新任ケアマネ1名の研修受入れを行いました。研修終了後も継続して支援しています。

ケアマネジャー、サービス事業所、民生委員等を対象とした連絡会（勉強会）を開催し、お互いに顔の見える関係づくりを進めました。

南区内の地域包括支援センターとの共催で、4回の研修を開催し、ケアマネジメントの質の向上を図りました。

地域のインフォーマルサービス一覧を作成し、適宜配布し、活用を促しています。

多職種協働による地域包括支援ネットワーク

ケアマネジャー、サービス事業所、民生委員等を対象とした連絡会（勉強会）を開催し、お互いに顔の見える関係づくりとネットワークの強化を進めました。

地域ケア会議の開催により関係者、関係団体・機関等と地域課題の把握、解決に向けて検討を行いネットワークの強化を進めました。

今年度は「認知症の方を地域で支える」ことをテーマに地域ケア会議を開催し、地域課題の把握や情報共有等を行う中で、ネットワーク強化を図りました。

介護予防事業

介護予防事業

1. 普及啓発

(1) 民生委員児童委員協議会、南吉田クラブ、吉野クラブ、高根クラブ等に参加し、介護予防に関する情報提供をしました。

(2) お元気で21健診を区役所、他地域ケアプラザと実施し、介護予防の普及啓発を実施しました。

また、予防支援の方に対しても、サービス担当者会議の際に、介護予防の重要性について説明しています。

2. 介護予防事業の展開

(1) 高齢者住宅のフローラハナにおいて、ロコモ予防、口腔機能向上、栄養改善等の介護予防教室を実施しました。

(2) ハッピー脳トレウォーキングが新たに元気づくりステーションとして立ち上がっています。

(3) レジデンス楨、アイディールⅡ、TK57、サウスビラにおいて、出張相談会を開催。相談会では介護予防に資する体操や運動も取り入れました。

(4) 地域のボランティア向けに、3月13日にスキルアップ講座を実施しました。また、高根町西町内会館において、体操を中心とした、介護予防教室を開催しました。その際、地域住民向けの体操に取り入れる学習の場として、地域の保健活動推進員等が出席してくれました。

3. 地域活動の支援

(1) ハマの歴史塾が自主グループとして立ち上がりました。

(2) 寿東部のサロン(みどり会)や、婦人部の活動に参加し、現状把握に努めました。

4. 健康寿命の延伸に向けた取組み

ウォーキングポイントのリーダー利用のために来所する方に対し、積極的に声掛けをし、来所しやすい環境づくりに努めました。

区内のウォーキングマップを配架するなど、住民の健康づくりへの働きかけを行いました。

その他

複合福祉施設の1階に立地していることから、他階の来訪者への対応が多く全体の窓口的な役割を果たしました。

ウォーキングポイントリーダーを設置しているため、読み取りのために来訪した方に対して機器の取り扱い説明を行うなど、健康横浜21の推進に貢献しました。

平成27年度 地域ケアプラザ収支報告書

施設名:横浜市浦舟地域ケアプラザ

平成27年4月1日～平成28年3月31日
(単位:千円)

	科目	地域活動交流	地域包括支援センター			居宅介護支援	通所介護	予防通所介護	認知症対応型 通所介護	小規模多機能 型 居宅介護
			包括的支援	介護予防事業	介護予防支援					
収入	指定管理料等収入	18,098	23,488	149						
	介護保険収入				11,678	7,837	80,723	7,101	27,716	34,841
	その他									
	認定調査委託料					816				
	原案作成委託料 (内部)				281					
	積立資産取崩						470		240	94
	雑収入その他	1,129	114				2,603			279
収入合計(A)	19,227	23,602	149	11,960	8,653	83,795	7,101	27,956	35,214	
支出	人件費	14,647	22,823		5,621	12,048	59,434		17,429	39,694
	事務費	2,843	2,188		1,332	1,342	6,420		2,500	2,404
	事業費	1,126	439	152		257	7,603		2,038	2,403
	管理費	4,526	1,203				6,282		1,548	698
	その他									
	施設使用料相当額						2,973		1,017	523
	居介支委託分				3,413					
その他の支出他						631		25	62	
支出合計(B)	23,141	26,653	152	10,365	13,647	83,343		24,558	45,783	
収支 (A) - (B)	-3,914	-3,051	-3	1,595	-4,994	7,553		3,398	-10,569	

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等他の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

※精算書をベースに作成してください。

平成27年度 自主事業報告書

横浜市浦舟地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
あつまれ！ハニービー	目的：子育て支援、母親同士の交流、閉じこもり予防 内容：フリースペース開放(未就園児) 第1（金）親子触れ合い体操 第3（金）こどもの部屋 手遊び／読み聞かせ	毎月第1・3・5 （金） 午前 全27回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あつまれ！ ハニーベイビー	目的：子育て支援、母親同士の交流、閉じこもり予防 内容：フリースペース開放（月齢児） 第3（金）ママ達の癒しの時間（バルドの会による ハンドマッサージ、全身ほぐし）	毎月第1・3・5 （金） 午後 全27回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
PCルーム開放	目的：閉じこもり予防、高齢者のIT支援、男性ボランティアの活動の場の提供 内容：PCのフリースペース開放	毎月第1・3（金） 全23回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うらふねPC相談室	目的：閉じこもり予防、高齢者のIT支援、男性ボランティアの活動の場の提供 内容：PCボランティアによる高齢者向けのパソコン相談室	毎月第2・4（金） 全24回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌声ひろば	目的：閉じこもり予防、認知症予防、地域交流 内容：ギターボランティアによる懐メロ・唱歌の会	毎月第3月（金） 全11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うらふね納涼祭	目的：浦舟複合福祉施設の周知と地域交流 内容：模擬店、フリーマーケット、ステージ発表、各種イベント他	27年8月16日（日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	目的：ボランティア育成、地域交流 内容：よこはまシニアボランティアポイントカード取得のためのボランティア研修会	27年6月30日（火）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
年末大掃除大会	目的：登録団体同士の交流 内容：ケアプラザの大掃除を通して、各団体の交流を図る	27年12月25日（金）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
Ciao! 障がい児余暇支援事業	目的：知的障がい児の余暇支援、保護者間交流、知的障がい者の社会参加。 内容：地域の協力を得て、調理、工作等の講座や外出を行う。	27年8月5日（水） 12月19日（土） 28年3月28日（月）

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
レインボーフェスタ	目的：施設の周知と近隣施設との交流 内容：浦舟・中村地域の福祉関係施設の共催事業。中村小学校や中村地区センターなどを会場に模擬店やイベントを実施。浦舟地域ケアプラザは、中村地域ケアプラザと協働でフリマ運営	27年9月26日（土）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティア感謝会	目的：ボランティアに対する感謝会とボランティア同士の交流 内容：食事会と発表会	28年3月13日（日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うらふね脳の健康教室（第15期） （包括共催）	目的：認知症予防、地域交流、引きこもり防止 内容：公文式教材を使用した認知症予防教室	平成27年4月～8月 毎週（木）全22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うらふね脳の健康教室（第16期） （包括共催）	目的：認知症予防、地域交流、引きこもり防止 内容：公文式教材を使用した認知症予防教室	平成27年10月～2月 毎週（木）全22回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
お茶会 （包括共催）	目的：閉じこもり予防、地域交流 内容：各種イベントとおしゃべり	毎月第2（金） 全11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
えんがわ倶楽部	目的：囲碁・将棋・オセロを趣味とする地域住民相互の交流機会を作る。また高齢者や学生との異世代交流も自然な形で行えるようにする。 内容：囲碁・将棋・オセロを準備した部屋を出入り自由に開放する。	毎月第2・4（土） 全24回

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日枝小学校高齢者疑似体験、車いす体験講座 (包括共催)	目的：小学生高学年を対象に、高齢者疑似体験、車いす体験を通して高齢者の身体状況を理解する。 内容：ケアプラザ職員と地区民生委員児童委員協議会の共同で、子どもの体験をサポートする。	27年7月4日（土）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
日枝小学校認知症サポーター小学生養成講座 (包括共催)	目的：小学生高学年を対象に、認知症への正しい知識と理解を深めてもらう。また若い世代の親にも関心を持ってもらい、地域全体で見守れるようにしていく。 内容：キャラバンメイトによる養成講座	28年2月1日（月）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
南吉田小学校認知症サポーター小学生養成講座 (包括共催)	目的：小学生高学年を対象に、認知症への正しい知識と理解を深めてもらう。また若い世代の親にも関心を持ってもらい、地域全体で見守れるようにしていく。 内容：キャラバンメイトによる養成講座	28年2月25日（木）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
共進中学校認知症サポーター養成講座 (包括共催)	目的：中学校3年生を対象に、認知症について正しい知識と理解を深め、サポーターとして役割を担える人材の育成。 内容：清水ヶ丘地域ケアプラザ、睦地域ケアプラザ、浦舟地域ケアプラザの共催による養成講座。（キャラバンメイトも3者合同）	28年3月4日（木）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お三の宮地区認知症サポーター養成講座 (包括共催)	目的：地域住民の認知症への理解を深めために、ケアプラザ、民生委員児童委員協議会、保健活動推進員、友愛活動員の共催で、講座を開催する。 内容：キャラバンメイトによる講義およびDVD、寸劇。	27年5月29日

事業名	目的・内容	実施時期・回数
巡回相談室 (包括共催)	目的：一般・特定高齢者の介護予防、ケアプラザの周知、引きこもり防止 内容：高齢者住宅を対象に健康チェック・体操	27年7月29日（水） 8月28日（金） 11月27日（金） 28年2月5日（金）

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うらふねっと “手と手” (包括)	目的：地域で活動の介護支援専門員対象の勉強会・交流会 内容：事例検討・プランの立て方・情報交換・民生委員との交流会などケアマネージャーが望む内容	27年7月15日 (水) 12月21日 (水)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うらふね介護者 くらぶ (包括)	目的：家庭で介護をされている方や介護経験者などを対象に、悩み相談、スキルアップ、ストレス発散を目的に開催 内容：施設見学会、茶話会など	毎月第2 (火) 全12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
うらふねお達者 塾	目的：65歳以上の一般高齢者を対象に、健康づくりについて学び、介護予防を日頃から実践してもらう。 内容：運動、栄養、口腔ケア	27年11月20日 (金) 11月27日 (金) 12月4日 (金)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
歌って元気になりましょう	目的：介護予防における口腔機能の維持増進、口の健康を保つ講座として音楽と歌を通して気分転換を図り、顔の表情筋や肺の機能、腹筋を鍛えることを目的とする。 内容：音楽療法の講師を迎え、音楽や歌を通して自然と体を動かし、会話を楽しみ、脳への刺激を活性化させる。	27年5月21日 (木)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
いつまでもここで暮らしたい～在宅生活の味方、成年後見制度～ (包括)	目的：成年後見制の啓発とあんしんセンターや地域包括支援センターの周知と総合相談への結びつき強化 内容：区役所、区社会福祉協議会あんしんセンター、民生委員、地域ケアプラザ職員による寸劇と講義。	28年1月27日 (水)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
備えて安心！終活のススメから任意後見・遺言について学ぼう～ (包括)	目的：老後の備えとして、任意後見制度と遺言の周知。また無料相談会による問題解決の場の提供。 内容：行政書士の講師による任意後見制度と遺言の講義。無料相談会。	28年3月17日 (木)

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
南なんデー	目的：南区の福祉保健祭りとして開催される「南なんデー」に、区内7ケアプラザのコーディネーターと区役所、区社会福祉協議会と共催で、異世代交流と地域福祉保健計画・地域ケアプラザの周知を目的に参加する。 内容：ケアプラザクイズ・地域福祉保健計画クイズ	27年10月4日（日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初めてのスマホ講座第2弾	目的：浦舟地域ケアプラザの周知と地域の高齢者のIT支援を行う。 内容：KDDI ケータイ教室事務局を講師に迎え、スマートフォンの基本的な操作方法を学ぶ。	27年8月28日（金）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハマの歴史塾第2弾	目的：地域在住の住民が、身近な地域の歴史について勉強し、改めて自分の土地への興味を持ってもらい、生活への楽しみを持てるようになる。 内容：地域の方を講師に迎え、2回1セットで座学と現地散策を組合わせて実施。	27年4月1日（水） ～6月17日（水） 全6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ハマの歴史塾第3弾	目的：地域在住の住民が、身近な地域の歴史について勉強し、改めて自分の土地への興味を持ってもらい、生活への楽しみを持てるようになる。 内容：地域の方を講師に迎え、2回1セットで座学と現地散策を組合わせて実施。	27年10月7日（水） ～12月16日（水） 全6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
そうだったのか！若さの秘訣	目的：ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯を対象とした介護予防講座 内容：介護予防実践に繋がる講座内容とする。	28年3月19日（土）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初めての健康麻雀教室	目的：脳トレ効果のある麻雀を通して、多世代の交流と外出のきっかけ作り。 内容：講師を招いた講義と実践。	28年1月8日（金） ～3月25日（金）

平成27年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
南区ボランティアフェスタ	目的：地域で活躍するボランティア団体が体験や展示で活動を紹介し、幅広い世代にボランティア活動を知ってもらい、興味を持ってもらう機会とする。 内容：ボランティア活動紹介と発表および参加者同士の相互交流。	28年2月21日（日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
大人の趣味講座	目的：物づくりを通じた他者交流と閉じこもり防止 内容：初心者でも簡単に作れる手芸品制作の趣味講座	27年5月13日（水） 5月22日（水） 6月10日（水） 6月26日（水）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
テーブルで抹茶と和菓子を楽しむ（包括）	目的：夏休み企画としての学生の参加とケアプラザの周知。日本文化の良さを改めて実感する機会とする。 内容：夫婦や祖父母と孫といったペアでも気軽に参加できる体験型茶道講座	27年8月4日（火）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
回想法を学ぶ～思い出語りでいきいきと～	目的：回想法の実践者を養成、育成し地域で実践することで、介護予防・認知症予防・閉じこもり予防につなげていく。 内容：よこはま回想法倶楽部との共催による講演会と5回連続の講座	27年10月4日（日） 10月18日（日） 11月8日（日） 11月22日（日） 12月20日（日）

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ボランティアスキルアップ講座	目的：活動中のボランティアが、安全に楽しくボランティア活動が継続できるようスキルアップを目指す。 内容：講師による講義（ボランティアの意義や活動自体が介護予防、認知症予防につながることを理解する）	27年3月13日（日）

平成27年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象	自主事業決算額					
	②延べ参加人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	講師謝金	材料費	その他
あつまれ！ハニービー	1歳以上未就園親子	10,081	10,081	0	0	10,081	0
	966人						
	無料						
あつまれ！ハニーベイビー	1歳未満親子	2,840	2,840	0	0	2,840	0
	396人						
	無料						
PCルーム開放日	高齢者	0	0	0	0	0	0
	116人						
	無料						
うらふねPC相談室	高齢者	0	0	0	0	0	0
	354人						
	無料						
歌声ひろば	高齢者	0	0	0	0	0	0
	769人						
	無料						
うらふね納涼祭	地域住民	119,221	119,221	0	0	119,221	0
	700名						
	無料(模擬店収入別)						
よこはまシニアボランティアポイント登録研修会	高齢者	0	0	0	0	0	0
	10人						
	無料						
年末大掃除大会	貸室登録団体	8,073	8,073	0	0	8,073	0
	43人						
	無料						
Ciao！障がい児余暇支援	知的障がいの小学生	17,655	14,655	3,000	5,568	10,967	1,120
	22人						
	500円						
レインボーフェスタ	地域住民	0	0	0	0	0	0
	1,000人						
	無料						
ボランティア感謝会	活動ボランティア	92,535	92,535	0	5,568	74,347	12,620
	46人						
	無料						
(地域&包括共催) うらふね脳の健康教室(第15期)	高齢者	210,727	46,727	164,000	0	197,147	13,580
	507人						
	2,000円						

平成27年度 自主事業収支報告書

(地域&包括共催) うらふね脳の健康教室(第16期)	高齢者	81,442	17,442	64,000	0	70,982	10,460
	300人						
	2,000円						
(地域&包括共催) お茶会	高齢者	6,999	6,999	0	5,568	1,431	0
	395人						
	無料						
えんがわ倶楽部	地域住民	8,116	8,116	0	0	8,116	0
	225人						
	無料						
(地域&包括共催) 日枝小学校高齢者疑似体験講座	小学生5年生	0	0	0	0	0	0
	36人						
	無料						
(地域&包括共催) 南吉田小学校認知症サポーター小学生養成講座	小学生4年生	0	0	0	0	0	0
	121人						
	無料						
(地域&包括共催) 日枝小学校認知症サポーター小学生養成講座	小学生4年生	495	495	0	0	495	0
	118人						
	無料						
(地域&包括共催) 共進中学校認知症サポーター小学生養成講座	小学生4年生	0	0	0	0	0	0
	189人						
	無料						
(地域&包括共催) お三の宮地区認知症サポーター養成講座	民生委員他	1,000	1,000	0	0	1,000	0
	33人						
	無料						
(地域&包括共催) 巡回相談室	高齢者住宅住民	0	0	0	0	0	0
	42人						
	無料						
(包括) うらふねっと手と手	ケアマネジャー	11,137	11,137	0	11,137	0	0
	52人						
	無料						
(包括) うらふね介護者くらぶ	介護者	3,411	3,411	0	0	3,411	0
	85人						
	無料						
(介護予防) うらふねお達者塾	高齢者	6,128	6,128	0	5,568	0	560
	41人						
	無料						
(介護予防) 歌って元気になりましょう	高齢者	13,187	13,187	0	11,137	1,350	700
	18人						
	無料						
(包括) 成年後見制度講座	高齢者・介護者	0	0	0	0	0	0
	36人						
	無料						

平成27年度 自主事業収支報告書

任意後見・遺言講座	(包括) 高齢者・介護者						
	25人	0	0	0	0	0	0
	無料						
南なんデー	地域住民						
	1000人	0	0	0	0	0	0
	無料						
初めてのスマホ講座	地域住民						
	17人	0	0	0	0	0	0
	無料						
ハマの歴史塾 第2弾	地域住民						
	57人	16,001	14,551	1,450	6,681	3,980	5,340
	500円						
ハマの歴史塾 第3弾	地域住民						
	118人	18,128	2,628	15,500	6,681	6,787	4,660
	500円						
(包括) そうだったのか！若さの秘訣	介護者						
	20人	14,478	14,478	0	14,478	0	0
	無料						
初めての健康麻雀教室	地域住民						
	207人	93,651	38,751	54,900	66,816	20,115	6,720
	300円						
南区ボランタリーフェスタ	地域住民						
	1000人	3,888	3,888	0	0	3,888	0
	無料						
大人の趣味講座	地域住民						
	34人	35,636	21,636	14,000	35,636	0	0
	500円						
(包括) テーブルで抹茶と和菓子を楽しむ	介護者						
	3人	8,909	8,109	800	8,909	0	0
	800円／1組						
回想法を学ぶ ～思い出語りでいきいきと～	介護者						
	3人	0	0	0	0	0	0
	3000円						
ボランティアスキルアップ講座	介護者						
	40人	0	16,000	0	16,000	0	0
	無料						